



創業140余年 東京本染ゆかた・手拭い發賣元

とだやししょうてん
梨園染 **や田屋商店**

梨園染こだわりの注染(ちゅうせん)とは

製造工程のほとんどが熟練の職人による手作業の伝統工芸です
一枚の型紙で多色を染めることができ、色をぼかすなど柔らかな表現を得意としています

1 型紙

絵師・彫師・紗張師の手を経て完成 **A**
(繰り返しの柄などは機械彫りが活躍します)



A 型紙

2 板場(いたば)

型紙を木枠に留め、型置(かたおき)をする

B・Cの工程を24m分繰り返してゆく

この際、少しでもずれてしまうと染め上がりに影響がでてしまう為、熟練した技が必要となる



B 型紙の上から糊を引き



C 生地を折り返す

3 紺屋(こうや)

型置した生地の上から、やかんで染料を注ぎコンプレッサーで下から吸引する **D**
(ひっくり返し、裏面も同様に作業します)

差分・ぼかし・抜染など職人の技で、美しい色合いのゆかたや手ぬぐいに染上がります



D 染料を **やかん** で注ぐ

4 水元(みずもと)

糊を水で洗い流し、だてに掛けて干す **E**

染工場より染上がった手ぬぐいは、裁断・畳み・出荷準備と三段階で品質チェックを行い、商品として納品されます



E だて



染め上がり

